梅檀

双葉南小学校だより
発行日2011，2,24
№　２９
発行責任者　末永幸弘

七字のふれあい 県・相双地区選考作品

県教育委員会が実施している本事業に夏休みの課題などで数多く出品していただきました。県の審査で二年の林心凛さんとお父さんの文和さんの作品が最終選考作品となりました。また相双地区の審査でも本校から多数の方の作品が選考されました。さらに、多くの作品を出品した学校奨励賞もいただきました。紹介します。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

県最終選考作品

たいこのね　ひびけちちまで
　やぐらまで　　二年　林　心凛
盆の入り　我の笛にて
　鼓よ響け　　父　林　文和

地区選考作品

あきらめず　れんしゅうしたよ
　リフティング　二年　志賀　勇政
夢を持ち　取り組む姿勢が
　頼もしい　　父　志賀　利幸
ゲームはね　じかんわすれる
　たのしくて　　二年　髙村　俊博
ゲーム機に　向かう息子に
　耳はある？　　母　髙村久美子

お日さまに　水を向けたら
　にじが出た　　三年　芟花　望歩
猛暑さえ　遊びに変える
　孫の術　　祖母　菅野　勝子
何年も　かかった岩は
　宝物　　四年　志賀　勇介
あぶくまの　神秘のしずく
　ほほにうけ　　母　志賀　祐子
この花火　心の中に
　焼き付ける　　五年　大谷　一希
名残惜しい　最後の一発
　消えないで　　母　大谷　順子
こわれそう　頭がカクカク
　どこ持つの　　六年　小野田安紗
生まれたて　みんなの笑顔の
　中心に　　母　小野田陽子
母さんの　大きな声えん
　はずかしい　　六年　渡辺　麻美
声を出せ　メガホン片手に
　大応援　　母　渡辺起美江

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

この事業も9年目となり、県全体で4万4千組以上、相双地区でも1万3千組以上の応募があったそうです。沢山のふれあいを生む本事業、次年度も多くの応募をお願いします。

入学説明会

2月18日（金）六年生が中学校入学説明会のため、中学校を訪れました。卒業までいよいよ一カ月、真剣な目で授業を参観していました。

地図帳の使い方

2月23日（水）四年生が「地図帳」の使い方の学習をしました。子どもたちが使っている地図帳の出版元である「帝国書院」から講師を招いての授業です。「さくいん」や「地図記号」「色」の見方を教えていただきました。

「地図帳をよく見ると、細い青い線が、たてとよこに何本も引かれています。地図帳の上には青い線で囲まれた小さな四角が並んでいて、マス目模様を作っています。そしてそれぞれのマス目には番地があるのです。みなさんの家の住所にも番地があるのと同じです。」

次年度から実施される指導要領では、地図帳や地球儀の活用が求められています。子どもたちの地図帳への興味を深め、進んで調べる態度を養っていきたいとの思いからの授業です。

新指導要領では、「47都道府県の位置と名称」を三、四年で学習することになります。

昔の遊び

２月２２日（火）１年生が「昔の遊び」体験をしました。
１４名の地区のお年寄りに「お手玉」「あやとり」「こま回し」「輪ゴムでっぽう」「おはじき」「竹トンボ」などの昔の遊びを教えていただきました。普段はゲーム機などで遊ぶ子供達、昔ながらの遊びに新鮮さを感じたのか、興味深々。和やかな時間となりました。ご協力頂いた皆様有難うございました。